

甲州市立地適正化計画策定に係るパブリックコメントの要旨と市の見解

	意見の要旨	市の見解
	・合計 51 億円もの総工費＝無駄な税金を投入する位なら、老朽化した既存のインフラ整備に充ててください。愚の骨頂です。 ・「生活利便施設の立地が形成」とありますが、既存の大菩薩ラインや駅周辺など、数多くの「立地」が存在しているにも関わらず、なぜ現状において、生活利便施設が生まれないのでしょうか？ 「道路の工事／拡充≠お店の形成」なのは、明白です。 ・「周辺居住者や塩山駅、利便施設を利用する方々の利便性が向上」とありますが、そもそも、定量的／定性的に、周辺居住者にヒアリング／確認／調査は実際にしたのですか？ 「利便性が増すから、多額の税金を投入してでも、道路を造ってほしい」という意見が、多数を占めたのでしょうか？数人／数件だけの（恣意的な）ヒアリングではなくて、定量的なヒアリング／確認／調査を求めます。 ・（既に道路があるにも関わらず）「道路が出来たら、観光客の増加する」と述べている根拠／因果関係が希薄すぎます。 ・ 交通量推計値は 3200～4400 台／日」としていますが、その根拠が曖昧です。実際に誰かがしっかりと計測したのですか？	・ 貴重なご意見として、受け止めさせていただきます。 ・ 貴重なご意見として、受け止めさせていただきます。 ・ 都市計画の決定にあたり、これまで住民説明会や意見聴取を実施してまいりました。追加のヒアリング等を行う予定はございませんが、地域の皆様のご理解とご協力を賜りながら、計画の推進に努めてまいります。 ・ 山梨県県土整備部の費用便益分析マニュアルによりますと、観光客増加便益については、道路整備により、観光地までの時間短縮効果がある事業とされており、駅に近接する道路であることから分析項目に追加しました。観光客増加便益は、総便益に対し割合が少ない分析結果でありました。 ・ 国土交通省が主体となり実施した全国道路・街路交通情勢調査結果を基に、山梨県が推計したデータです。